

【高等学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立嬉野高等学校
1 前年度 評価結果の概要	嬉野市に位置する塩田工業高校と嬉野高校が再編され、令和2年度は新嬉野高校の完成年度となる。新嬉野高校は塩田校舎と嬉野校舎からなる校舎制の高校であり、地域に期待され活気に満ちた学校づくりが求められる。そのためには両校舎の教職員の連携・協力体制の構築がより一層必要である。両校舎ともに今までの成果も十分あるが、それぞれ課題もあり、克服していかなければならない。
2 学校教育目標	校訓である「躍動」「琢磨」「敬愛」の精神を生かして、専門教育を通した「人づくり」教育を行い、社会で生き抜くために必要な学ぶ力と敬う心を育み、志をもって社会に貢献できる専門技術者の育成を目指す。
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 進路目標の早期確立を図り、生徒全員の進路実現を目指す。 2 専門的知識・技能を習得させ、資格取得や各種大会・コンテスト等への積極的な参加を通して、将来のスペシャリストたる生徒を育成する。 3 わかる授業、力がつく授業を実践し、教材研究や指導の工夫・改善を行い、確かな学力の定着を目指す。 4 積極的な生徒指導で、基本的生活習慣(挨拶・服装・頭髪等)の確立と共に、敬愛の心を育み、調和のとれた生徒を育成する。 5 校舎制による円滑な学校運営を図り、社会に開かれた教育課程に取り組みながら、地区行事や地域ボランティア等に積極的に参加して、地域の期待に応えられる開かれた学校をつくる。

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○基礎学力の向上	○家庭学習時間の調査を行い、毎日の家庭学習の充実を目指す。 ○生徒アンケートにより、わかる授業実施率を80%以上を目指す。	・定期的な家庭生活の記録調査を実施する。 ・わかる授業の実践のため、教師の日々の授業の工夫・改善に努める。					両校舎教務主任 両校舎各学年主任
	○探究心の向上	○専門の教科で資格指導を行い、昨年度合格率比10%アップを目指す。	・各専門教科で積極的に資格指導に務める。 ・昨年度を振り返り、教科で課題を共有し、指導を行う。					各科・各系列主任
	○ICT機器を活用した授業の実施	○電子黒板、学習用パソコンの教育活動内での利利用率65~70%を目指す。	・校内研修を通し、全職員の取り組みを共有する。 ・遠隔地授業の実践に取り組む。					両校舎ICT担当者
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育の全体計画に基づいて授業を行った教員90%以上を目指す。	・人権・同和教育講演会を実施する。 ・「情報」「LHR」において情報モラル教育、進路保障・人権教育を実施する。					両校舎人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上を目指す。	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。					両校舎生徒指導主事 両校舎教育相談係
	○ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒90%以上を目指す。	・各地域の郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む。					両校舎「さが語り」担当者
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上を目指す。 ○朝食をとって登校する生徒90%以上を目指す。	・生活状況調査、食に関する意識調査を実施する。 ・保健だよりの発行を年間10回以上発行する。 ・健康診断結果に基づく早期治療の指導を徹底させる。					両校舎保健主事 両校舎養護教諭
	○健康の保持増進のため体力向上	○健康・体づくり推進プランを実行して、健康保持増進、体力の向上を目指す。新体力テストで各個人が5%得点アップにつなげる。	・新体力テスト実施する。 ・部活動加入率85%(塩田校舎)、75%(嬉野校舎)を目指す。					両校舎体育科主任 両校舎生徒会主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定。 ・学校閉庁日の設定。 ・部活動休業日の設定。					両校舎管理職 主幹教諭
	○学校行事の精選と効率的運営	○講演会等の行事の精選を行う。 ○従前の行事の偏りをなくするため両校舎で実施する行事の検討を継続して行う。	・合同開催できる行事を2つ以上実施する。 ・あらかじめ、主担当で行事の打ち合わせを行い、計画的に実施できるよう図る。					両校舎管理職 主幹教諭 両校舎各行事担当者
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○進路実現100%	○生徒の希望進路への実現	○キャリア教育の充実のための校外研修を行う。	・外部からの専門技術者を講師として招聘する。 ・学校外での就労体験(インターンシップ等)の推進を行う。					
○身だしなみ指導とマナーアップ	○社会人として必要な身だしなみ指導推進	○すべての授業、教育活動で身だしなみ・挨拶指導を実践する。	・朝の挨拶指導を定期的に行う。 ・授業前の身だしなみチェック、挨拶指導の推奨。					両校舎生徒指導主事
○校舎制による円滑な学校運営	○各校舎間の連携	○分掌業務や部活動等で、連携がとれたと回答した職員80%以上を目指す。	・合同会議やワーキンググループにより、職員間で合意形成・共通理解を図る。 ・学校行事や部活動など両校舎の一体感を醸成する活動を合同で行う。					両校舎管理職
○魅力と活力ある高校づくり	○保護者や地域の方の積極的参加	○本年度については、PTA総会の書面議決回答の回収率70%以上を目指す。	・書面議決によるPTA総会の事前連絡および回答提出依頼を文書、スクールニュース等で行う。 ・授業参観日の積極的参加を促す。					両校舎PTA担当者
	○地域とつながる高校魅力づくり(県指定)	○地域との連携事業を各学科、系列で実施する。	・各学科、系列担当で今までの取り組みを集約し、体系化する。 ・地域との連携、新規の取り組みにつながる事業を検討する。					嬉野校舎担当者 主幹教諭
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育								
5 総合評価・次年度への展望								